

進路状況報告

東大・京大 33名  
東工大・一橋大

国立大医学部医学科17名  
東大20名で全国公立6位  
筑波大43名・東北大25名

進路指導部長 横倉 敏治

志願概況は、国立大で前年並み、私立大で増加と対照的な結果となった。系統別の人気では、ここ2年ほど続いた鮮やかな文高理低に変化の兆しがみられ、今春は総合科学系や工学系に人気が集まった。

国立大では、教育学部のゼロ免課程の廃止、学部新設などの学部再編の動きが活発だった。それに伴い、入学定員の文縮理拡の動きが見られた。入試改革の方向性を意識してか、難関大や医学部医学科でも後期廃止が進んでいる。昨年度の東京大に続き、大阪大が後期を完全に廃止した。AO入試を実施する大学が65%にまで達し、募集人員は前年比123%と大幅に増加している。国立大学協会は「アクションプラン」で、平成33年度までに入学定員の30%を目標に、推薦入試、AO入試、国際バカロレア入試などを拡大することを掲げており、この傾向は強まる事が予想される。難関国立大は堅調な人気を示している。センター試験では文系の平均点が7点アップしたことが、文系受験生の

強気の出願につながった。

私立大では、インターネット出願や併願時の受験料割引制度の拡大が、志願者数増加の大きな要因となった。入学定員管理の厳格化に伴い、合格者を絞り込む動きが見られ、競争が激しくなった。さて、昨年度の本校の主な大学の入試結果であるが、

- 東京大20名(新卒11名)
- 京都大6名(新卒5名)
- 東工大5名(新卒3名)
- 一橋大2名
- 東北大25名(新卒18名)
- 筑波大43名(新卒27名)
- 国立大医学部医学科17名(新卒6名)

となった。  
東京大には、新卒生が11名合格した。内訳は、文一3名、文二1名、文三2名、理一3名、理二2名である。既卒生が9名合格し、合わせると20名となり、公立高校では全国6位の合格者数であった。東京大、京都大、東工大、一橋大には、合わせると33名が合格した。筑波大には、43名が合格し、そのうち医学群医学類には6名(新卒3名)が合格した。東北大には、25名が合格した。

本校生の受験する大学は難関大と言われる大学が多くを占め、目標を高く設定し、最後まで諦めない姿勢が窺える。しかしながら、本校を取りまく環境変化が急激に進んでおり、今後より一層の学習指導・進学指導の充実を図ってきたい。

平成29年度入試合格状況

国公立大学

私立大学

\*新卒は内数です

大学	合格者	新卒
旭川医科大	1	
北海道大	16	9
北教大札幌校	1	1
東北大	25	18
秋田大	2	
茨城大	19	12
筑波大	43	27
群馬大	1	
埼玉大	2	2
千葉大	12	5
お茶の水女子大	2	1
電気通信大	2	1
東京大	20	11
東京医科歯科大	1	1
東京外語大	3	3
東京海洋大	1	1
東京芸術大	1	1
東京工業大	5	3
東京農工大	1	1
一橋大	2	
横浜国立大	7	5

大学	合格者	新卒
新潟大	1	
山梨大	1	
信州大	6	4
名古屋大	3	1
京都大	6	5
大阪大	4	3
奈良女子大	1	
和歌山大	1	
九州大	3	1
鹿児島大	2	1
札幌医科大	1	
福島県立医科大	1	
茨城県立医療大	3	2
高崎経済大	1	
新潟県立大	1	
名古屋市立大	1	
岐阜薬科大	1	
和歌山県立医科大	1	
岡山県立大	1	1
国公立大計	206	120
(うち医学科)	17	6

大学	合格者	新卒
青山学院大	18	11
学習院大	14	5
慶應義塾大	32	14
芝浦工業大	35	8
上智大	8	3
中央大	44	21
津田塾大	6	5
東京女子大	12	8
東京理科大	115	45
日本大	30	10
日本女子大	17	6
法政大	34	16
明治大	85	43
立教大	10	7
早稲田大	57	21
立命館大	10	
その他	150	85
私立大計	677	308
合格者総数	883	428